

事業名 ^{かめざき} 亀崎海浜緑地整備事業

(衣浦港)

[復活した昔ながらの山車祭り]

受賞機関 愛知県衣浦港務所

事業実施期間 平成元年4月～平成9年3月

事業費 1,892百万円



潮干祭りににぎわい

事業等の特徴

当地(半田市)では、海より上陸した神を祀るため伝統的な山車祭りが砂浜で行われていた。しかし、伊勢湾台風後の堤防建設により、海浜が消滅したことによりその姿を見ることができなくなった。

本緑地計画にあたって、この山車祭りを復活させるため、緑地の海浜整備への強い要望が地域住民等から寄せられた。それらを計画に反映させるべく整備計画の策定を行い、また、実施においても山車の曳き回し実験等を行いながら事業を完成させた。施設の清掃等の管理は、アダプトプログラム(公共施設の里親制度)により地元の地域住民がボランティアとして実施しており、その活動は早朝から一年を通して休みなく続けられている。また、潮干祭りが開催される時期には地元小学校や祭り保存会によるボランティア清掃が行われている。

週末や休日にはたくさんの人々で賑わうが、毎年春に行われる「潮干祭り」には3万人もの見物客が訪れ、新聞、テレビにとりあげられている。

事業の概要と利用者等の評価

亀崎海浜緑地は重要港湾衣浦港の北西部に位置し、昭和56年に改定された港湾計画の中で位置づけられた。従来整備されてきた港湾緑地は臨海工業地の緩衝的な性格、あるいは港湾労働者の休息空間的な性格の強いものであった。しかし近年、これまでの開発優先の考え方を見直し、環境保全に配慮しようという意識が高まってきた。本事業はこうした時代のニーズに沿って、失われた自然の復元と地域の伝統ある海の祭りの復活、と同時に海の魅力を最大に生



緑地風景

かした緑地整備を基本方針として、以下の点に留意し、事業を計画・実施した。

失われた水際線を取り戻すための海浜緑地地域住民との対話を取り入れた整備計画(山車祭りの復活)

(1) 計画、設計及び施工のプロセスに対する評価

計画段階で地域の住民の要望により計画の再検討を行った。また、施工にあたっては、地元住民の協力を得て山車の曳き回し実験を実施した。

(2) 事業完了後、施設等に対する評価及び評価の把握手法

親水性を持たせた緑地整備によるレクリエーション・人との交流機会の増加効果
海浜の整備による水質・生態系に与える改善効果
祭り、イベント等の開催の場として供される効果
海洋性レクリエーションの場としての効果
大勢の人が訪れることによる地域の活性化効果

審査委員会委員の意見等

- ・「生きてきた空間」としての復活とその管理に対する制度の活用(アダプトプログラム)
- ・山車の復活が素晴らしい。地域に愛され親しまれる港のあり方の好例である。
- ・住民の継続的な清掃活動など、一過性でない効果が評価できる。
- ・勇壮な祭りとして、名高く“山車と砂浜”の風物詩は語りつがれていた。これが復元されることにより地域文化の継承に大きな役割を果たすと思われる。
- ・山車祭りの復活に事業の成果が凝縮されている。
- ・山車の曳き回し実験を行いながら工事を実施したという事業実施方法や、実施後は多数の利用者があり、また、アダプトプログラムによる地元住民ボランティアによる施設の管理制度など地元と密着した制度が確立されている事例として高く評価できる。

受賞賛助会員 大有建設(株)、日本車輛製造(株)名古屋営業部